



熊谷人物往来 ⑤



ハンディをバネにして、羽ばたけ "モグ"、"コモグ"、 ラグビーで日本一をめざす 堀越正巳&弘二兄弟

普通の人とそうでない人のちがいはハンディや逆境をみごとにバネにしてしまうことだろう。

160 cm 68 kgといえ、男としては、おせじにも大きいとは言えない。堀越正巳は野球に熱中していた東中学の時、すでに自分のハンディに気付いた。これ以上は身長は伸びないだろうと。先輩の勧めもあってラグビーで花園をめざす熊谷工業高校に進学。ラグビーは正巳少年が望んだ“チビでもデカイ男と対等にぶつかりあえるスポーツ”だった。しかも花園は野球の甲子園である。

森喜雄監督・塚田朗コーチと鉄壁の指導陣のもと、正巳はすぐに頭角を現した。天性の明るさとガッツで人をぐんぐんひっぱっていく。といっても決して強引ではない。心くばりはじつに繊細で嫌みがない。

正巳は風貌がなんとなく“もぐら”に似ているところから“モグ”と呼ばれた。2年遅れて弟の弘二が「兄貴がやるなら僕も」と入部、“モグ”に“コモグ”が揃った。このコンビは早稲田でも実現した。試合中はガッツの固まりとなって燃え上がる兄・正巳は口も手も足もでる。監督たち

をハラハラさせることも珍しくないが、それがたまらない魅力だとスポーツ記者達はいう。弟・弘二は日頃は兄のそばで柔和な笑顔をうかべているだけだが、試合となると闘志満々の表情となる。兄譲りのきれいな良いプレーが身上である。この兄弟たちに、ここ7年、お正月はない。年末・年始はラグビーの試合のさなか。留守を守る佐谷田の実家も父・正孝さん、母・洋子さん、妹の美香さん(熊工ラグビー部マネージャー)で全員で観戦に出掛けて行くという、家族そろってのラガーである。

2月号の発行は1月21日です。

発行 / **ASA** 熊谷
熊谷市弥生町1の66
☎0485 (25) 4305(代)
☎0485 (25) 4306
編集部 ☎24-7994
☎25-5199
責任者: 岩田豊司郎

今月のタウン熊谷の見どころ

- ラグビー王国熊谷の生んだヒーロー・堀越2面
- 今年こそ優勝だ/熊谷工業ラグビー部3面
- おめでとう/コミュニティ賞5面
- お正月・熊谷周辺お花事情6面
- 中山道平成絵巻(下植木)8~9面
- 特集:クロスワード大会13~14面
- プレゼントコーナー16面

ラグビー王国 熊谷が生んだヒーロー

めざせ日本一！越え掘ツツガ



12：2 国立競技場6万の大観衆は、宿命の対決・ラグビー早明戦の終盤3分に酔いしれた。地の底をゆるがすような観衆のどよめきを背に、堀越は目を真っ赤にして早大の15人の赤黒戦士の先頭を走った。

「ラスト3分、12点差」誰もが負けると思った試合だった。万に一つもこの方法でしか挽回できないということが、まるで絵に描いたようにその通りになった。奇跡としかいいようのない試合展開。

早稲田ラグビー部のキャプテン、堀越正巳は、名門熊谷工業から早稲田に、そして1年生からレギュラーに。早大をラグビー日本一に導いたおおいなる戦力として活躍。19才からは全日本代表に選ばれ、海外での実戦も何

度も体験。4年生になって当然のごとく“神様”ともいわれる主将の座に。常に“天才SH堀越”の名をほしいままにしてきた。

ラグビーの魅力は、荒々しい肉弾戦と、潔さにあるといわれている。どんな天候であろうと無防備で相手に体当たり、突進し、組み合い、蹴る、タックルするといった格闘技が、楕円形のボールをめぐるって繰り返される。

男の闘争本能そのままのスポーツである。それだけにダーティプレーは極端に嫌われる。どのスポーツにもましてレフリーは絶対視されるというのもラグビーならではのこと。

チビ・デブ・ノッポといった体型を越えて、平等に戦えるという爽快感がたまらないと選手たちはいう。

堀越正巳は160cm 68kg、早明両チームを通じて一番小さい。しかし、この人を評してスポーツ記者たちは「偉大な堀越」といってはばからないのはこの人に備わった天性のヒーロー性があるからだろうか。



12・2ガノーサイドの両者優勝となったためにこの決着は新年に持ち越される。1月6日は大学日本一、そして1月15日は天下分け目の社会人日本一の「神戸製鋼」と「日本」をかけたの決戦である。堀越ひきいる早稲田がどこまで頑張れるか、地元の熊谷からも熱いコールをおくりたい。

そしてその堀越は引く手あまたの中から昨年の日本一の神戸製鋼を就職先として選んだ。学生時代の集大成だ。意地をかけても学生日本一の栄光を獲得してもらいたい。

(写真は日刊スポーツ提供)



森喜雄先生プロフィール

文字どうりラグビー王国熊谷の土台造りをした人。熊谷工業の前身・商工高校に初めてラグビー部を創設以来昭和62年に定年退職するまでの40年間、ラグビー一筋の人生。現在は埼玉大深谷高校講師で同ラグビー部監督。64才・妻沼在住。

堀越が熊谷工業のラグビー部に入部して、めきめき力をつけてきたのは半年後の夏休み以降のこと。初めから目標は「花園」とはつきりしていた。真面目でこうと決めたら徹底する性格で、1年生でただひとり補欠で選ばれて全国大会に出場。以来、ぐんぐん頭角を現した。彼にはヒーローになるべく素質は充分、天性の明るさ、真摯な姿勢、そして細心にして大胆な神経の持主でガツツガ凄い。下級生でありながら上級生の先輩を指示するという、いわゆるタブーをおかしてもみんな納得してついていったのは、彼なりの細かいフオローがされていたからだと思う。早稲田ですぐにレギュラーの15人に選ばれたのも、名キャプテンになれたのも彼の努力と器だとおもう。これからの活躍が楽しみだ。

今年こそ優勝だ！

“花園”に燃える熊谷工業高校・ラグビー部

熊谷工業高校・ラグビー部が「名門校」といわれるようになったのはここ10年来の活躍による。特にこの5年間は国体での優勝、花園の全国大会準優勝、以来、常に優勝候補の最右翼とみなされてきた。当然優秀な選手も集まるが、熊谷工業にはつねに130名余りの部員がいる。

特に今年のチームは強い。恩師・森喜雄先生率いる埼玉大深谷を30：3で破り、第一シード校に選ばれた。今年には70回記念大会のため、やはり強豪

の行田高校とともに花園に臨む。

「強いだけのチームになるな。ラグビーという男のスポーツを通して人間性を高めよう」という伝統が一部員にまで徹底している。

この25日、花園に向けて出発するが30日の2回戦で石川と岐阜の勝者と対戦。そして3回戦は1月1日、順当に勝ち進めれば決勝戦は1月7日の予定である。

出発を前にしての3年生ばかりの練習

はいかにもリラックスムード。塚田監督の口からポンポンと冗談も飛び出す。「気が先行して過去に苦い経験をしています。今年はガッツを表に出さないように平常心を心がけています」と頼もしいひとこと。今年のFWの平均身長175cm体重78kg、バックスは168の63とやや小ぶり。しかし内に秘めた闘志は優勝候補No1に恥じないとか。

ラグビー王国熊谷の名を一段と高めてくれる活躍を期待しよう！

メンバー表

ポジション	背番号	選手氏名	出身中学	学年	身長(cm)	体重(kg)
FW	1	根岸 宏明	(上尾南中)	3	172	93
〃	2	原 一 郎	(深谷藤沢中)	3	172	83
〃	3	中 島 貴司	(本庄東中)	3	172	83
〃	4	金子 宏明	(熊谷富士見中)	3	182	80
〃	5	鈴木 貴志	(東京大崎中)	3	181	91
〃	6	堀 越 利昌	(児玉中)	3	173	70
〃	7	佐久間 猛	(児玉美里中)	3	176	72
〃	8	岸 田 悟	(松山北中)	3	177	78
HB	9	亀 山 昭	(熊谷奈良中)	3	160	63
〃	00	新 井 昭夫	(深谷明戸中)	3	172	72
TB	11	石 川 篤史	(熊谷吉岡中)	3	163	60
〃	12	小 林 裕	(鴻巣西中)	3	180	72
〃	13	川 田 征 宏	(本庄東中)	3	175	73
〃	14	久保田 仁	(深谷藤羅中)	3	169	60
FB	15	渡 部 司	(深谷南中)	3	170	62
補欠	16	門 園 健	(熊谷東中)	3	166	70
〃	17	栗 原 健 一	(行田見沼中)	2	175	80
〃	18	岡 崎 純 一	(与野南中)	3	180	82
〃	19	飯 野 彰 義	(小川西中)	3	176	71
〃	20	荻 原 武 也	(深谷中)	3	179	70
〃	21	金 子 博 也	(熊谷東中)	2	175	73
〃	22	及 川 真 清	(本庄東中)	2	168	66
〃	23	小 和 瀬 剛	(寄居用土中)	2	172	65
〃	24	高 野 時 寛	(深谷南中)	3	167	65
〃	25	松 本 晃 知	(熊谷東中)	3	172	61

監督・部長 塚田 明

○印は主将

熊谷工業高校ラグビー部

130名の部員の中で3年生44名。

この内21名が花園全国大会に出場する。

